特　集

ヒカリのあたる森

― 森で生きる　森を活かす ―

香美市が全国に誇る最先端の林業って？ 4～7P

切り出した丸太を売る現場に密着！ 8～9P

さわやか林業男子香美市で育成中！ 10～11P

榧（かや）の木のものがたり 28～29P

もっと森に目を向けよう 実は知らない森のこと、林業のこと

私たちにとって、とても身近な存在である森林。香美市の森林率は88％で、民有林の75％が人工林です。香美市のほとんどは森であると言っても過言ではないものの、私たちは森に対し深い関心を払わず、林業の現場でどのような営みが続けられているか、実のところよく知らないのではないでしょうか。

森林は、地球温暖化の原因といわれる二酸化炭素を吸収し、保水力を高めて水源をかん養するなど、多くの公益的機能を備えています。しかし現在、木材価格の低迷や林業従事者の減少などを背景に、手入れがされなくなって放置された人工林が多くなっています。それらの森では木が密集し、光が届かなくなります。下草は生えず、保水力は失われ、やせた土壌の暗い森へと変貌してしまうのです。

森が本来持っているさまざまな力を十分に発揮するために必要なこと。それは、植えられ、育てられてきた山の木々を適切に使っていくこと。そしてまた苗木を植えて、手入れをしながら山を生かしていく。このことは、山を大切な財産として守り、豊かな森として管理していくことにつながります。

さらにいえば、その経済的な循環は山に雇用を生み出し、放置されていた木々を資源に変えます。

香美市は、はるか昔から林業で栄えてきた土地柄。緑豊かな私たちのまちには、誇るべき山の営みがあります。

知っていそうで実は知らない森のこと、林業のこと。

奥深く広大な森の中で、山の仕事人たちがどんな仕事をしているのか、一般の人が目にする機会はめったにありません。

『ヒカリのあたる森』

森で生き、森を活かす人たちに光を当て、林業の未来を照らす特集です。

データで見る高知県の林業

©やなせたかし 森のモリりくん

高知県の森林率は84％で全国1位。このうち人工林が占める比率も65％と高く、全国2位となっている。また、民有人工林のうち、45年生を超える森林は74％ある。

林業就業者数では、平成26年度の新規就業者は125人で、林業就業者の平均年齢は、ここ10年間で3.2歳若返り、51.8歳となっている。

林業就業者数（平成26年度）

合計 1,602人

年代	割合
10歳代	0.7%
20歳代	9.3%
30歳代	17.9%
40歳代	15.5%
50歳代	18.4%
60歳代以上	38.1%

民有人工林の状況（平成26年度）

(ha) 60000 50000 40000 30000 20000 10000 0

5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60 65 70 75

林齢 (年)